

令和2年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要について

令和2年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

市内で69件(16件減(前年比。以下同じ。))の火災が発生し、死者は2人(1人減)で、負傷者は13人(2人減)です。
火災原因等の詳細は、別紙1のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は16,091件(2,228件減)、搬送人員は、14,025人(2,201人減)で、共に減少となっています。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙2のとおりです。

問い合わせ先

消防局 予防課(火災関係)

042-751-9117

救急課(救急関係)

042-751-9142

令和2年上半期(1月～6月)における火災の概要(速報値)

令和2年上半期(1月～6月)に市内で69件の火災が発生しました。
火災による死者は2人で、負傷者は13人です。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は、前年と比べ16件の減少

火災件数は69件で、前年と比べると16件減少しています。

火災種別ごとに見ると、前年と比べ、建物火災は39件で11件減、林野火災は4件で1件増、車両火災は8件で同数、その他の火災は18件で6件減となっています。

(2) 出火原因の第1位は「放火(疑い含む)」、続いて「たばこ」

全火災69件を出火原因別に見ると、「放火(疑い含む)」が12件(17.4%)で1位、続いて「たばこ」9件(13.0%)、「こんろ」7件(10.1%)、「火遊び」、「電気機器」、「配線器具」がそれぞれ3件(4.3%)の順となっています。

(3) 火災による死者は2人、前年と比べ1人の減少

火災による死者は2人で、前年と比べると1人減少しています。

火災種別ごとに見ると、2人共に車両火災により亡くなりました。

火災による負傷者は13人で、前年と比べると2人減少しています。

(4) 前年と比べ建物焼損棟数、焼損面積、損害額は減少

焼損棟数は39棟で、前年と比べると28棟減少しています。

建物の焼損面積は373㎡で前年と比べると945㎡減少しています。

損害額は1億2,047万4,000円で前年と比べると1,194万1,000円減少しています。

(5) 緊急事態宣言発令中(4月7日～5月25日)は、前年の同時期と比べ、火災件数、損害額は減少

火災件数は13件で、前年の同時期と比べると6件減少しています。

火災種別ごとに見ると、前年と比べ、建物火災は9件で2件減、林野火災は1件で1件増、車両火災は2件で同数、その他の火災は1件で5件減少しています。

損害額は11万7,000円で前年と比べると94万円減少しています。

2 火災概況

項 目		令和2年上半期	令和元年上半期	増 減	
合 計 (件数)		69	85	△16	
火災種別	建物	件 数	39	50	△11
		面積(m ²)	373	1,318	△945
	林野	件 数	4	3	1
		面積(a)	5.5	1	4.5
	車 両	8	8	0	
	船 舶	0	0	0	
	航 空 機	0	0	0	
	その他	件 数	18	24	△6
面積(m ²)		1,440	4,594	△3,154	
原因別	失 火(構成比)	53 (77)	57 (67)	△4	
	放火(疑い含む)(構成比)	12 (17)	20 (24)	△8	
	不 明(構成比)	4 (6)	8 (9)	△4	
焼 損 棟 数		39	67	△28	
り 災 世 帯		23	44	△21	
り 災 人 員		50	96	△46	
死 者		2	3	△1	
負 傷 者		13	15	△2	
損 害 額 (千円)		120,474	132,415	△11,941	

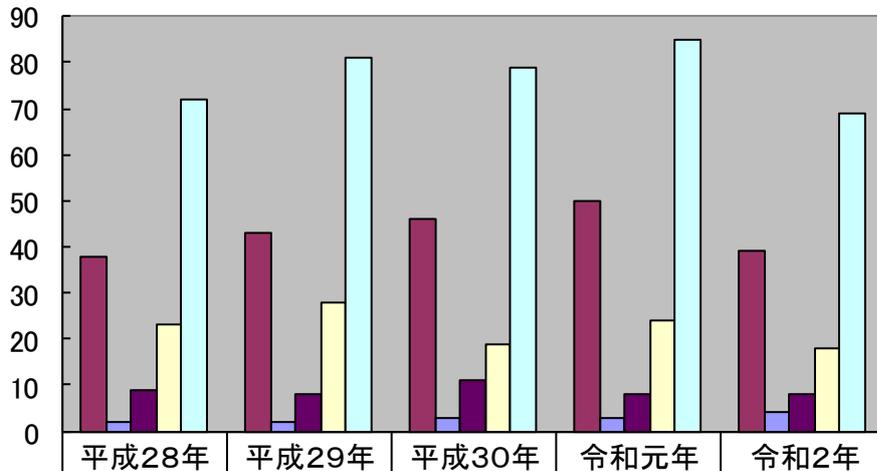
3 出火原因

令和2年上半期 69 件			令和元年上半期 85 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	放火(疑い含む)	12 (17.4%)	1	放火(疑い含む)	20 (23.5%)
2	た ば こ	9 (13.0%)	2	た ば こ	12 (14.1%)
3	こ ん ろ	7 (10.1%)	3	電 気 機 器	6 (7.1%)
4	電 気 機 器	3 (4.3%)	4	こ ん ろ	5 (5.9%)
4	配 線 器 具	3 (4.3%)	5	配 線 器 具	4 (4.7%)
4	火 遊 び	3 (4.3%)			
そ の 他		32 (46.4%)	そ の 他		38 (44.7%)

* 小数点第2位を四捨五入

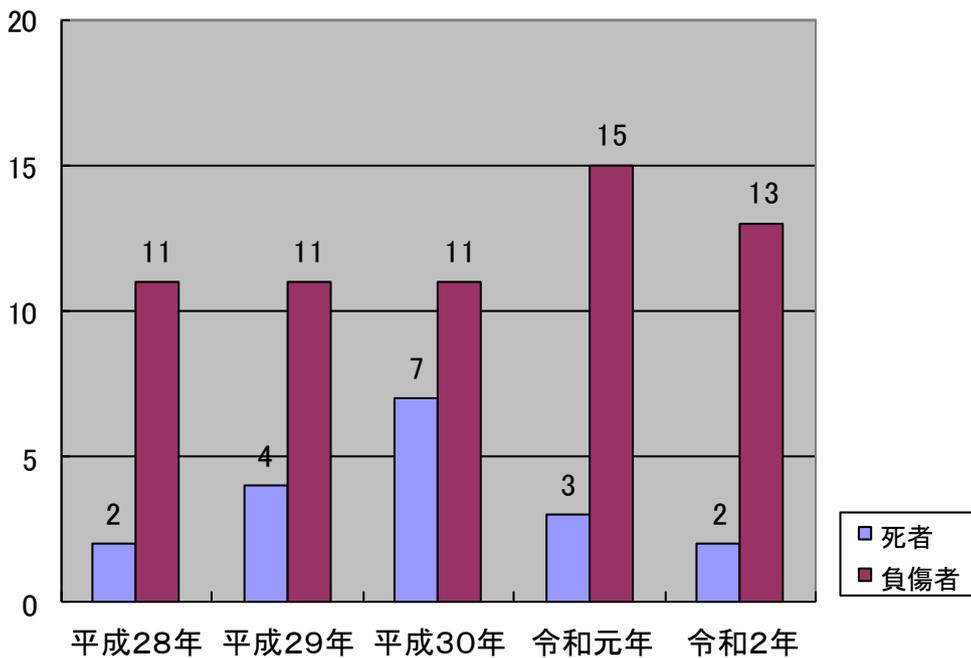
* 括弧内は全体件数に対する割合

過去5年 火災件数



	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
■建物	38	43	46	50	39
■林野	2	2	3	3	4
■車両	9	8	11	8	8
□その他	23	28	19	24	18
□合計	72	81	79	85	69

過去5年 火災に伴う死傷者数



令和2年上半期(1月～6月)における救急の概要(速報値)

救急出場件数は16,091件、搬送人員は14,025人で、共に減少となりました。

1 救急業務の実施状況**(1) 救急出場件数は前年と比べ2,228件減少**

令和2年上半期の救急出場件数は16,091件、搬送人員は14,025人で、前年と比べ救急出場件数は2,228件、搬送人員は2,201人減少しています。

(2) 救急出場の事故種別の第1位は「急病」、続いて「一般負傷」、「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」(10,477件 65.1%)が最も多く、「一般負傷」(2,328件 14.5%)、「転院搬送」(1,324件 8.2%)、「交通事故」(928件 5.8%)と続いています。

(3) 65歳以上の高齢者の搬送割合は前年と比べ2.3%増

65歳以上の高齢者の搬送人員は、8,089人(前年比900人減)で、全体の搬送人員の57.7%(前年比2.3%増)となっています。

(4) 軽症者の搬送割合は前年と比べ4.7%減

軽症者の搬送人員は、6,596人(前年比1,785人減)で、全体の搬送人員の47.0%(前年比4.7%減)となっています

2 救急概要

事故種別 区分		令和2年上半期		令和元年上半期		増減(C) (A-B)	増減率(%) (C/B×100)	
		(A)		(B)				
救急出場件数		16,091		18,319		△ 2,228	△ 12.2%	
傷病者搬送件数		13,968		16,127		△ 2,159	△ 13.4%	
不搬送件数		2,123		2,192		△ 69	△ 3.1%	
事故種別内訳	火災	42	(0.3%)	57	(0.3%)	△ 15	△ 26.3%	
	自然災害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	—	—	
	水難	2	(0.0%)	4	(0.0%)	△ 2	△ 50.0%	
	交通	928	(5.8%)	1,252	(6.8%)	△ 324	△ 25.9%	
	労働災害	101	(0.6%)	120	(0.7%)	△ 19	△ 15.8%	
	運動競技	37	(0.2%)	130	(0.7%)	△ 93	△ 71.5%	
	一般負傷	2,328	(14.5%)	2,437	(13.3%)	△ 109	△ 4.5%	
	加害	89	(0.6%)	126	(0.7%)	△ 37	△ 29.4%	
	自損行為	149	(0.9%)	147	(0.8%)	2	1.4%	
	急病	10,477	(65.1%)	11,697	(63.9%)	△ 1,220	△ 10.4%	
	その他	転院搬送	1,324	(8.2%)	1,549	(8.5%)	△ 225	△ 14.5%
		医師搬送	15	(0.1%)	24	(0.1%)	△ 9	△ 37.5%
		資材搬送	0	(0.0%)	2	(0.0%)	△ 2	△ 100.0%
その他		599	(3.7%)	774	(4.2%)	△ 175	△ 22.6%	
搬送人員		14,025		16,226		△ 2,201	△ 13.6%	
性別	男性	7,424		8,543		△ 1,119	△ 13.1%	
	女性	6,601		7,683		△ 1,082	△ 14.1%	
程度別	死亡	118	(0.8%)	122	(0.8%)	△ 4	△ 3.3%	
	重症	1,283	(9.1%)	1,213	(7.5%)	70	5.8%	
	中等症	6,027	(43.0%)	6,509	(40.1%)	△ 482	△ 7.4%	
	軽症	6,596	(47.0%)	8,381	(51.7%)	△ 1,785	△ 21.3%	
	その他	1	(0.0%)	1	(0.0%)	0	0.0%	
活動	ドクターカー使用	31		40		△ 9	△ 22.5%	
	ドクターヘリ使用	2		10		△ 8	△ 80.0%	

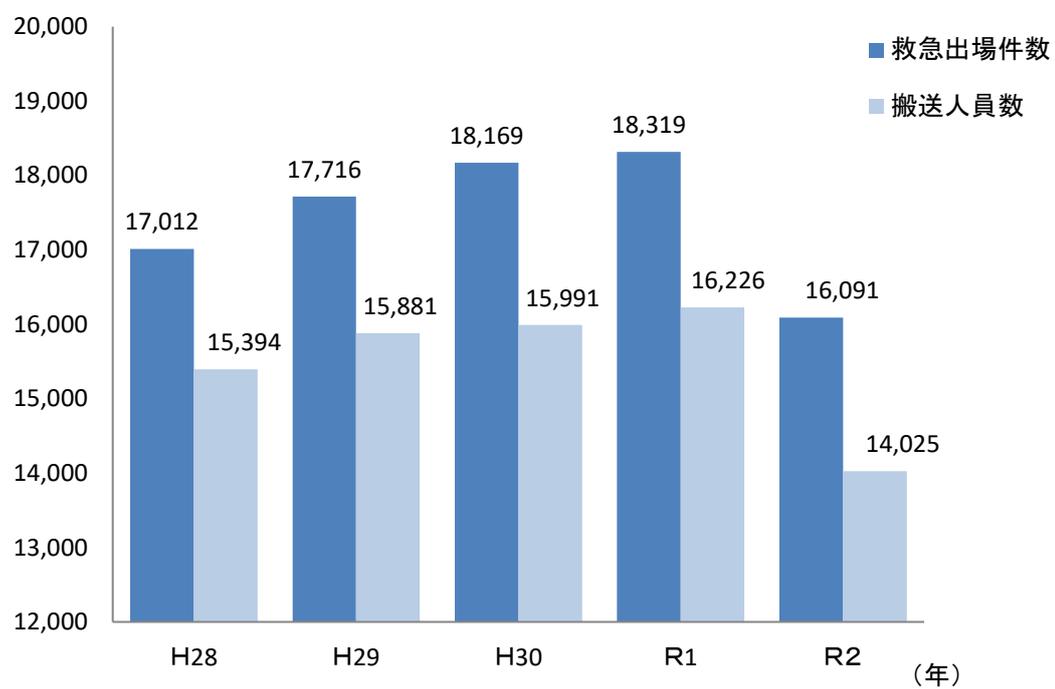
* 小数点第2位を四捨五入

* 事故種別内訳の括弧内は搬送件数に対する割合

* 程度別の括弧内は搬送人員に対する割合

(件・人)

過去5年間上半期の救急出場件数及び搬送人員の推移【図】



3 救急隊別活動状況

隊別		令和2年上半期		令和元年上半期		前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増減率
相模原署	本署1	1,648	10.2%	1,802	9.8%	△154	△8.5%
	本署2	296	1.8%	192	1.0%	104	54.2%
	田名	726	4.5%	860	4.7%	△134	△15.6%
	淵野辺	1,335	8.3%	1,537	8.4%	△202	△13.1%
	緑が丘	1,206	7.5%	1,354	7.4%	△148	△10.9%
	上溝	918	5.7%	1,086	5.9%	△168	△15.5%
南署	本署1	1,519	9.4%	1,690	9.2%	△171	△10.1%
	本署2	94	0.6%			94	
	新磯	492	3.1%	626	3.4%	△134	△21.4%
	大沼	1,228	7.6%	1,381	7.5%	△153	△11.1%
	相武台	1,104	6.9%	1,262	6.9%	△158	△12.5%
	上鶴間	1,194	7.4%	1,287	7.0%	△93	△7.2%
北署	本署	1,104	6.9%	1,328	7.2%	△224	△16.9%
	大沢	645	4.0%	829	4.5%	△184	△22.2%
	相原	816	5.1%	943	5.1%	△127	△13.5%
	城山	729	4.5%	802	4.4%	△73	△9.1%
津久井署	本署	336	2.1%	447	2.4%	△111	△24.8%
	派出所	416	2.6%	509	2.8%	△93	△18.3%
	藤野	208	1.3%	284	1.6%	△76	△26.8%
	青根	77	0.5%	100	0.5%	△23	△23.0%
計		16,091	100.0%	18,319	100.0%	△2,228	△12.2%

* 小数点第2位を四捨五入

* 平成31年4月2日から相模原消防署で日勤救急隊（本署2）の運用を開始

* 令和2年4月2日から南消防署で日勤救急隊（本署2）の運用を開始

4 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		令和2年上半期		令和元年上半期		前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	9,359	66.7%	10,637	65.6%	△ 1,278	△ 12.0%
2	一般負傷	2,094	14.9%	2,242	13.8%	△ 148	△ 6.6%
3	転院搬送	1,324	9.4%	1,548	9.5%	△ 224	△ 14.5%
4	交通	840	6.0%	1,193	7.4%	△ 353	△ 29.6%
5	自損行為	102	0.7%	109	0.7%	△ 7	△ 6.4%
6	労働災害	101	0.7%	119	0.7%	△ 18	△ 15.1%
7	その他	94	0.7%	139	0.9%	△ 45	△ 32.4%
8	加害	65	0.5%	89	0.5%	△ 24	△ 27.0%
9	運動競技	36	0.3%	134	0.8%	△ 98	△ 73.1%
10	火災	9	0.1%	14	0.1%	△ 5	△ 35.7%
11	水難	1	0.0%	2	0.0%	△ 1	△ 50.0%
12	自然災害	0	0.0%	0	0.0%	—	—
計		14,025	100%	16,226	100%	△ 2,201	△ 13.6%

* 小数点第2位を四捨五入

5 年齢別搬送人員

年齢区分	令和2年上半期		令和元年上半期		前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児	47	0.3%	49	0.3%	△ 2	△ 4.1%
乳幼児	563	4.0%	986	6.1%	△ 423	△ 42.9%
少年	399	2.8%	593	3.7%	△ 194	△ 32.7%
成人	4,927	35.1%	5,609	34.6%	△ 682	△ 12.2%
高齢者（65歳以上）	8,089	57.7%	8,989	55.4%	△ 900	△ 10.0%
合計	14,025	100.0%	16,226	100.0%	△ 2,201	△ 13.6%

* 小数点第2位を四捨五入